

季節はいよいよ冬。暦の上では「立冬」を迎えました。と同時に畑の冬野菜が旬を迎え始めたので、ベランダには毎日干しカゴをぶら下げて大根や福来みかんの皮などを干しています。東向きのベランダなので、陽が当たるのは午前11時まで。寒い冬も早起きは欠かせません。

### 社長の思いと社員の思い

社員が増えてある程度会社の規模が大きくなってくると、社員に思いが伝わらないと悩む社長が数多くおられます。会社が小規模なうちはまさに全社一丸となって思いを共有して会社を経営してきた自負がある社長も多いはず。ところがある時期から、なんとなく歯がゆい感覚が増えてくるのです。この歯がゆ

さは何に起因するのでしょうか。その原因は明確で、社員に社長と同じ視点を求めるが故に生じます。よく経営者感覚(経営感覚)を持って欲しいという思いを聞きますが、雇う立場と雇われる立場ではたとえ役員であっても絶対的に立場が違いますから同じ視点、同じ感覚を持つことは叶いません。しかしなが

ら、思いや考えを共有することは可能です。共有する「仕組み」を構築することで可能となります。社長の思いが末端の社員の一人ひとりに浸透している会社には立場を超えて伝わる「仕組み」があります。当社はその「仕組み」づくりを通じて企業文化醸成・組織風土改革のお手伝いをしています。(太)

### 顔を出しましょう！

プロのカメラマンの方と知り合い、今後の新しいビジネスを考案しています。彼は誰もが聞いたことがある有名雑誌やオリンピックなどの撮影をしていたり、JALの機内誌に連載を持っている凄腕で、超一流企業のトップを撮影し続けています。その彼から、とても面白い話を聞きました。社長がWEBサイトなどで顔を出しているかどうかで会社の業績が変わるそうです。まさかと思い調べてみたら、それを裏付ける調査結果を見つけました。紙面の都合上結論だけ述べて詳述は避けますが、「社長は顔を出しましょう」。常日頃から口癖のように言っていますが、何を言うかよりも誰が言うかが重要です。どんな人が経営しているのかわかる方が顧客も取引先も、社員(未来の社員も含めて)も安心します。そして写真で印象は大きく変わります。顔を出すなら適当な写真ではなくプロによる精度の高い写真です。何を言うかを当社で、誰が言うかをプロのカメラマンで請け負います。トップメッセージのページを作り直すだけで会社の印象は格段にアップします。(太)

### ようこそ<sup>たじんてい</sup>太仁亭へ！

5月号でポップコーンの事を書きました。その頃、週末のおやつはポップコーンが続きましたが、夢畑農園の今年のポップコーンが早くも売り切れてしまい、来年までお預けとなっていました。けれど、お豆ちゃんが熱望するのでスーパー

にあったポップコーン豆で久し振りにポップしたところ、家族三人のお通じが大変良くなり、改めてポップコーンの効果を実感致しました。来年また夢畑農園のポップコーンを食べられる日を心待ちにしています。(仁)

### 「15分片付け」のその後

昨年のの創刊号で、かたづけ士の小松易氏が提唱する「15分片付け」の事を書きました。その後、時折停滞しつつも細々と続けていますが、遂に次のステップに進む必要がありそうです。と言うのも、私の場合の15分片付けは「元の場所に戻す」「ここ数週間の紙類の分類と処分」が主なものだったので、室内にある物の絶対量は減っておらず、ここ数年の間に溜め込んだものについては、精査していませんでした。片付けている間に仕舞う場所がないものがある事が分かり、仕舞う場所

を作るには、不要なものを処分する必要があるという当たり前の現実に直面しました。捨てるのが苦手な私。捨てる必要があるのに、整理整頓すればなんとかなると思込むことにして片付けを続けていましたが、仕事の物だけでなくお豆ちゃんの洋服や小物、創作物も溜まる一方なので、いよいよ全て見直すことにしました。手始めに過去の年賀状と確定申告の資料の一部を処分。紙類の処分は腰が重くなりがちですが、少量でも処分すれば次へと弾みがつきます。(仁)

### 今月のお豆ちゃん

入園して三回目の運動会は、初めて園庭での開催となりました。過去を振り返っても雨の多い時期のようで、「私が勤めてから園庭は二回目」と仰る先生もおられるほど。「はらっぱにあつまれ」が毎年のテーマですが、はらっぱでの運動会は開放感一杯でとても清々しいものでした。それに反してお豆ちゃんは…番頭さんとの親子体操で足を痛めてしまい、その後のかけっこもダンスも玉入れも全て涙が止まらない運動会となりました。(仁)



### ぐるっとお散歩<sup>しのばら</sup>篠原展

見出しの写真は、篠原の里でお豆ちゃんが集めた椿の種やその他の植物達です。今年も相模原市緑区の篠原エリアを歩いて楽しむ「ぐるっとお散歩篠原展」へ行って参りました。お豆ちゃんは、0歳の時から毎年行っているので4回目です。篠原の里で塩茹でピーナッツを食べて校庭で遊んでから、あちこち回って楽しむのが恒例となりました。誰とでもすぐに遊べるお豆ちゃんは、少し年上の女の子と椿の種を拾い集めていました。(仁)

編集者：後藤紅仁子

kuniko-goto@ccore.co.jp

発行日：2018.11.12 立冬(りっとう)

地始凍(ちはじめてこおる)

発行所：株式会社コンセプト・コア

☎192-0373

八王子市上柚木 2-63-10

TEL/FAX 042-697-7473

https://ccore.co.jp/

過去号：ウェブサイト↑からご覧頂けます。